

令和4年度 地域脱炭素推進のためのネットワーク構築委託業務 ～地域脱炭素ネットワーキングイベント～

イベント概要

開催日時：令和4年11月28日(月)13:00～16:00
開催場所：ホテルメトロポリタンエドモント
参加者：18地方公共団体・50企業
目的：地域脱炭素推進に取り組む意向のある地方公共団体と脱炭素に関連する豊富な経験・ノウハウ・知見を有する企業の協働を目的とし、双方の人的ネットワークを構築する

タイムスケジュール

時間	次第
13:00-13:05	1. 開会挨拶(環境省)
13:05-13:10	2. グラドルルール説明
13:10-14:10	3. 地方公共団体のプレゼンテーション ※1地方公共団体につき3分間
14:10-14:30	4. 会場転換 及び サブ会場での関係省庁等からの情報提供 ※サブ会場イベントは任意参加
14:30-15:50	5. 地方公共団体と企業のマッチング ※8分間/ 1クール×8クール
15:50-16:00	6. 名刺交換等の交流
16:00	7. 閉会挨拶(以後、自由解散)

開催趣旨

日本は、令和2年10月に2050年カーボンニュートラルの実現を宣言し、脱炭素社会の実現に向けて大きく舵を切りました。これを実現する具体的な道筋としてとりまとめた「地域脱炭素ロードマップ」(令和3年6月 国・地方脱炭素実現会議決定)では、「**地域脱炭素は地域の成長戦略**」ということを掲げています。つまり、**脱炭素の主要なフィールドは地域**であり、事業スキーム次第では**地域課題の同時解決にもつながるもの**であり、そのためには地方公共団体・企業・住民といった**地域のステークホルダーが主体的に脱炭素に向けて取り組むことが重要**だと、環境省は考えています。

一方で、地方公共団体における脱炭素に関する人材や専門的知見の不足が課題として指摘されているとともに、特に民生部門・産業部門での脱炭素化は民間企業の取り組みにより達成することが不可欠であり、**地方公共団体と経験・ノウハウ・知見を有する民間事業者との協働が大切**です。企業にとっても、地方公共団体と連携しながら地域脱炭素を進めることによって、**ESG経営への対応**や**ビジネスチャンスの拡大**など、企業価値を向上させることができます。

本イベントは、地域脱炭素に取り組みたい地方公共団体と、脱炭素に関する豊富な経験等を有する民間事業者との間で**人的ネットワークを構築**し、**地域脱炭素を推進**していくことを目的として開催します。

参加地方公共団体および企業

地方公共団体名(18地方公共団体)

企業名(50社)

No.	地方公共団体名
1	北海道三笠市
2	北海道上士幌町
3	北海道釧路町
4	北海道滝上町
5	北海道中富良野町
6	神奈川県平塚市
7	神奈川県大和市
8	岐阜県美濃加茂市
9	愛知県安城市
10	大阪府河内長野市
11	大阪府八尾市
12	兵庫県小野市
13	島根県雲南市
14	高知県北川村
15	佐賀県鹿島市
16	宮崎県都農町
17	鹿児島県薩摩川内市
18	沖縄県糸満市

No.	事業者名(複数社共同含む)
1	株式会社IHI
2	株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ
3	株式会社あかりみらい
4	AZAPAエンジニアリング株式会社
5	株式会社荒谷建設コンサルタント
6	いすゞ自動車株式会社
7	いであ株式会社
8	出光興産株式会社
9	エア・ウォーター株式会社
10	SBIエナジー株式会社
11	SBテクノロジー株式会社
12	NECネットエスアイ株式会社
13	NTTアノードエナジー株式会社
14	株式会社エルコム
15	大阪ガス株式会社(合同参加: Daigasエナジー株式会社)
16	小田急電鉄株式会社
17	京セラ株式会社
18	株式会社CUVEYES
19	栗田工業株式会社
20	一般社団法人Green innovation
21	しんきん地域創生ネットワーク株式会社
22	スマートエナジー熊本株式会社
23	ソーラーフロンティア株式会社
24	ダイキン工業株式会社
25	ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社

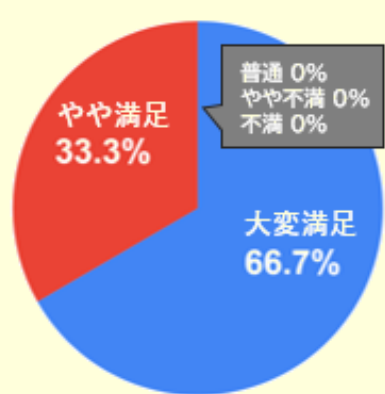
26	高砂熱学工業株式会社
27	月島機械株式会社
28	株式会社 東京アールアンドデー
29	東京海上日動火災保険株式会社
30	道東電機株式会社
31	株式会社トラストプラン
32	西日本電信電話株式会社
33	日揮株式会社
34	株式会社ニプロン
35	日本工営株式会社
36	日本電気株式会社
37	株式会社パスコ
38	パナソニック株式会社
39	株式会社日立製作所
40	日立造船株式会社
41	東日本電信電話株式会社
42	BIPROGY株式会社
43	株式会社日比谷アメニス
44	前田建設工業株式会社
45	三井住友建設株式会社
46	みヤマパワーHD株式会社 (合同参加: 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所、株式会社EECL)
47	株式会社明電舎
48	株式会社Mogura
49	リコー・ジャパン株式会社
50	株式会社YMFG ZONEプランニング



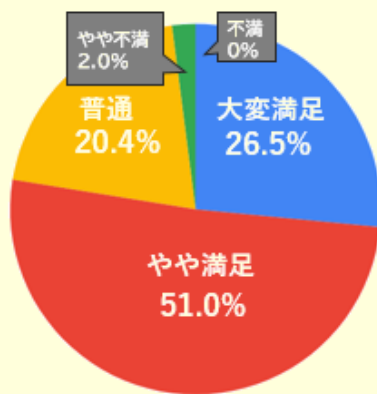
イベント満足度アンケート

「本イベントの全体満足度」 アンケート結果

ネットワーキングイベント終了後、地方公共団体と企業に対して行ったアンケート調査では、地方公共団体及び企業のいずれも75%以上の参加者がイベント参加を通じて満足が得られた旨の回答結果となりました。



参加地方公共団体回答



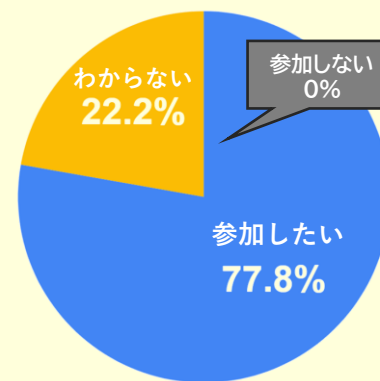
参加企業

回答理由（抜粋）

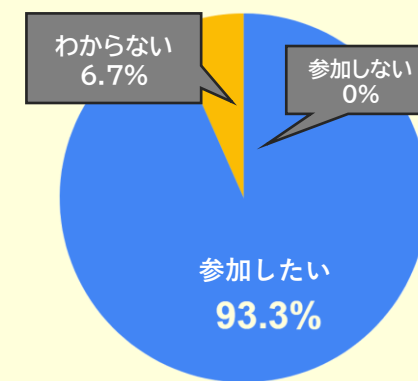
- ・事前に参加する企業が把握できたため、会話するイメージをもって当日を迎えられました。オンラインではできない、その場にいる人に話しかけることができたのが良かったと思います。(地方公共団体)
- ・自治体における概況・課題感の把握やコンタクトを、本イベントを通じて取得することができ、企業間の連携にも繋がりそう。(企業)

「同様のイベントが開催された場合の参加の可能性」 アンケート結果

今後、同様のイベントが開催される際は参加しようと思いますか？というアンケートには地方公共団体では77.8%、企業では93.3%が「参加したい」と回答し、「参加しない」という回答は0%でした。



参加地方公共団体回答



参加企業

回答理由（抜粋）

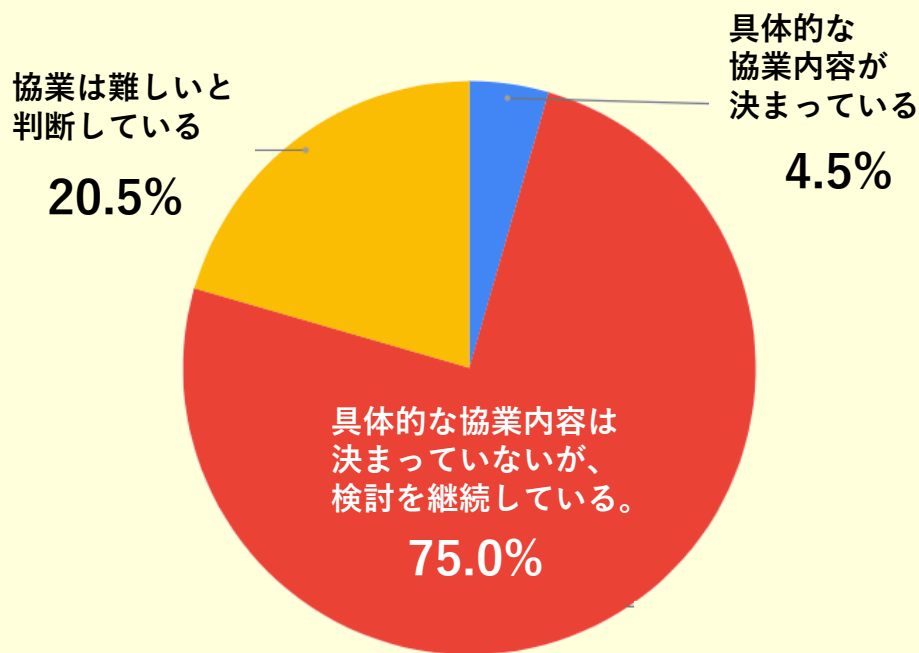
- ・参加企業とのマッチングは勿論のこと、他市の提案もとても興味深いものであったため。(地方公共団体)
- ・一度に複数の自治体とコンタクトできる。環境担当の職員様との関係構築ができる。(企業)

イベント後の状況

イベント開催の2か月後に本イベントを契機に構築した人的ネットワークがどの程度継続しているか、具体的にどの企業とどのような協業に結びつきそうかを把握することを目的として、参加地方公共団体に対してフォローアップアンケートを実施しました。

アンケートによると、本イベントを契機に112件の事後的なコミュニケーションが生まれ、うち5件では具体的な協業が決まり、84件では協業に向けて継続協議中という状況であることがわかりました。

「本イベントを通してコミュニケーションをとった企業
及び地方公共団体間における 協働の進捗度合」
アンケート結果



回答理由や協業内容（抜粋）

■具体的な協業内容が決まっている

・イベント後に個別の打合せを数回実施し、企業の持つソリューションが自地域の課題解決に適するものと判断した。脱炭素先行地域の応募に向けて、協働している。

・人材派遣について協業予定。

■具体的な協業内容は決まっていなかったが、検討を継続している。

・イベント後に個別の打合せ実施した結果、先方は地域新電力の立上げ等のノウハウを有し、実績もある事から継続して協議を続ける事になりました。今後、具体的な施策を検討していきながら、地元企業等なども交えて協議を行っていく予定。

・当市およびWebで各1回の打ち合わせを実施。事業課題の解決に向けて同社保有の掘削技術の情報を伺うほか、グループ会社で進めている地域ポイントシステムについて協議。補助金の活用可能性などを見据えながら今後も検討を続けたい。

■協業は難しいと判断している

・技術的ノウハウがあるが、規模感的にマッチしない印象。

・本市が想定していた計画を変更したため。

雲南市と株式会社スタジオスポビー(イベント開催当時、株式会社CUVEYES)は、本イベントを契機に、生ゴミの減量化やエコな移動による脱炭素効果を計測、ポイント化するスマートフォンアプリ「SPOBY」の開発を行いました。本イベントの約半年後(2023年5月)には雲南市環境会議・環境フォーラムにおいてアプリの体験会が実施され、本イベントでのマッチングが地方公共団体と企業との具体的な協業に発展しています。

雲南市 × SPOBY × うなんコミュニティ財団

エコサイクル & ウォーク

5月11日(木)開始

コンポストで 脱炭素

詳細はこちら

STEP 1 SPOBY アプリをダウンロード

STEP 2 脱炭素してポイントを貯める

STEP 3 貯まったポイントで特典と交換

歩いて脱炭素

詳細はこちら

取り組みについて

雲南市では、令和4年6月に行った雲南市脱炭素宣言に基づいて、さまざまな取り組みを始めています。公益財団法人うなんコミュニティ財団と生ごみの減量化に取り組んでいます。この取り組みの見える化を行うため、活動計測アプリ「SPOBY」を活用した実証事業を開始します。生ごみを減量化やエコな移動を行うことにより、ポイントが貯まり、貯まったポイントで特典と交換できます。ぜひご活用ください。

in 環境会議

5月28日(日) 参加無料

開催

雲南市コンポスト体験会 & 特典交換会

会場 雲南市役所

雲南市木次町里方 521-1

内容 コンポスト体験

特典交換

交換特典一覧



協賛



※5月28日は上記特典のみ交換会を行います。

イベントに関して

公益財団法人うなんコミュニティ財団
TEL: 0854-47-7787 Mail: info@unnan-cf.org

雲南市環境政策課
TEL: 0854-40-1033 Mail: kankyouseisaku@city.unnan.shimane.jp

アプリに関して

株式会社スタジオスポビー
TEL: 03-6435-7204
Mail: support@spoby.jp
アプリ名: SPOBY(スポビー)

Android



ios



詳細はこちら

